



菜の花(なのはな)
 花言葉…快活な愛・競争など

“野菜(菜っ葉)の花”という意味から「菜の花」になった。おひたしや和え物(あえもの)として食べられる。ふつう見かけるのは「西洋油菜(せいやうあぶらな)」なので「西洋油菜」のことを「菜の花」と呼ぶことが多い。蜜(みつ)を作る原料として、養蜂業者の人たちは九州などの暖地から花期に従ってしだいに北上してその花蜜を集めるらしい。昔は、種子から菜種油(なたねあぶら)をとる、「油菜(あぶらな)」のことを菜の花と呼んだ。

花のお便り

2014.2 No.92

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
<http://www.miyazaki-p.co.jp/>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
 TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

今年の冬は例年にくらべ寒さが厳しい。それにしても日替わりの寒暖の差が著しく、高齢の方には体調の管理が難しい。私が心がけているのは、毎日三度の食事を定時摂取をし、朝食は誰もが簡単に済ませることが多いが、温かい汁物を欠かさないようにしている。身体の体温の低下は、免疫力の低下にもつながるらしく、冷たい食物のみの食事は慎んだ方が良さらしい。



PP・パウチ加工で印刷物に輝きを！

コピーや印刷物だけでなく、写真などの劣化を防ぐ意味でPP・パウチ加工は欠かせません。さらにコピーや印刷物も、より美しく見せるのにも最適です。弊社ではカードサイズからA3サイズまでは、翌日仕上げで承っています。

■パウチ加工料金表

1枚当り

サイズ	1~9枚	10~49枚	50枚以上
カードサイズ・ 54×86mm	100	90	80
//・ 55×90mm	110	100	90
B5サイズ・ 182×257mm	190	160	140
A4サイズ・ 210×297mm	250	230	200
B4サイズ・ 257×364mm	320	290	270
A3サイズ・ 297×420mm	420	400	370

単位:円



疑問に答える 塗り足しって何？

チラシ・パンフレット・カタログなどをよく見ると、写真や色などが、紙の端まで印刷されているものを見かけませんか。それを「塗り足し」と呼んでいます。この呼称になったのは、データ作成がデジタル環境になってからで、それ以前は「断ち割り」「断ち切り」と呼ぶのが一般的でした。印刷物の写真の回りを白を出さずに、紙全体に写真を配置することで、写真の拡がりや表現でき、訴求効果が期待できます。さらにデザインの巾も拡がります。A4の塗り足し印刷には四方の内トンボ(A4規格の大きさ)より、外トンボまで3ミリの塗り足しが必要となります。また、プリンター出力や印刷の場合、規格の用紙より大きなサイズの用紙が必要となります。データ作成の注意点は、ワードなどのソフトはトンボ作成や塗り足しの機能がなく、データを印刷会社に渡し、イラストレータに変換、塗り足し加工が必要となります。

気まぐれエッセイ 楽しさ倍増のバスツアー

1月下旬地元の遊び仲間10名程で、ハトバスツアーで那須まで行って来た。食事をして温泉に入りお土産店に寄るといふ、ごくありふれたツアーであったが、添乗員・バスガイド・運転手のお陰で多に楽しんだ。こんなことを書くとハトバスの回し者と思われるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。秀逸はバスガイドで、流暢

な話は立て板に水というよりは、立て板に油の表現の方がふさわしい。下調べは勿論、経験に裏打ちされた話は実に素晴らしく、日光や那須の山並が見えると、山名や位置、さらにその山や地域にまつわる蘊蓄までも披露する。最後はハトバス65周年の記念品の贈呈やらで車中を大いに盛り上げていただき、温泉、食事も含め全て大満足となった。